

## 平成26年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月4日

上場会社名 ナトコ株式会社

上場取引所 東

 コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長・生産企画部長 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285

四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年10月期第1四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第1四半期	3,271	1.3	159	△15.4	221	△8.0	129	38.0
25年10月期第1四半期	3,229	1.8	189	3.0	240	25.3	93	16.0

(注) 包括利益 26年10月期第1四半期 241百万円 (△41.6%) 25年10月期第1四半期 413百万円 (190.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第1四半期	15.88	—
25年10月期第1四半期	12.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第1四半期	19,342	15,302	79.1
25年10月期	20,927	15,250	67.9

(参考) 自己資本 26年10月期第1四半期 15,302百万円 25年10月期 14,209百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	8.00	—	24.00	32.00
26年10月期	—	—	—	—	—
26年10月期(予想)	—	10.00	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,800	0.7	510	△8.4	540	△15.8	300	0.9	36.84
通期	15,500	△3.2	1,850	△27.8	1,900	△30.4	1,100	△27.0	135.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年10月期1Q	8,144,400 株	25年10月期	7,324,800 株
② 期末自己株式数	26年10月期1Q	890 株	25年10月期	890 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年10月期1Q	8,143,510 株	25年10月期1Q	7,323,953 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済では緩やかな回復基調が継続しており、また、欧州経済では持ち直しの兆しが見られましたが、中国を始めとする新興国の経済成長の鈍化傾向が改善されず、依然として不透明感がありました。

わが国経済においては、政府の経済政策や日本銀行の金融政策による円高の是正や株価の上昇を背景に、企業収益や個人消費にも改善の動きが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループは市場ニーズを先取りした独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発に注力し、新規顧客の獲得に向けた営業活動を積極的に展開いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,271百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

一方、利益面におきましては、業務全般の効率化や生産性の向上によるコスト削減に取り組んでまいりましたが、円安等の影響により国内の原油・ナフサ市況が高止まりし、原材料価格の上昇を招いたことに加え、耐塗可精細化工（青島）有限公司の操業準備費用が増加した結果、営業利益159百万円（前年同期比15.4%減）、経常利益221百万円（前年同期比8.0%減）となりました。純利益におきましては、連結子会社である巴興業株式会社を株式交換により完全子会社化したことに伴い、少数株主損益への振替額がなくなり、四半期純利益129百万円（前年同期比38.0%増）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

#### ①塗料事業

金属用塗料分野では、鋼製家具、工作機械、道路資材関連のユーザーの需要が好調であったことや環境対応型塗料の拡販に向けた積極的な営業活動の結果、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。内装建材用塗料分野では、無塗装のフローリング製品の増加による需要減が続いており、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。外装建材用塗料分野では、消費税増税前の住宅着工件数の増加により需要が堅調であったことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。その他の分野では、シンナーにおいて新規顧客の獲得により需要が伸びたものの、樹脂素材分野においてスマートフォン向けに採用された製品の需要が生産調整により縮小し、売上高は前年同期に比べ僅かながら減少いたしました。

その結果、塗料事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,930百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は248百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

#### ②ファインケミカル事業

化成品における電子材料向けのコーティング材の需要の低迷が続いており、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は292百万円（前年同期比16.6%減）、セグメント利益は32百万円（前年同期比50.0%減）となりました。

#### ③産業廃棄物収集運搬・処分事業

産業廃棄物収集運搬・処分におきましては、廃液の有価物化が進んだことにより、廃棄物の取扱量が減少し、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、産業廃棄物収集運搬・処分事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は48百万円（前年同期比11.1%減）、セグメント利益は8百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は19,342百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,584百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が209百万円増加したものの、現金及び預金が146百万円、受取手形及び売掛金が1,615百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は4,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,636百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が478百万円、未払法人税等が915百万円、賞与引当金が164百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は15,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加いたしました。これは少数株主持分が1,040百万円減少したものの、資本剰余金が1,027百万円、為替換算調整勘定が97百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.1%（前連結会計年度末は67.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月期の連結業績予想につきましては、平成25年12月9日に公表いたしました「平成25年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,574,975	6,428,523
受取手形及び売掛金	5,847,336	4,231,863
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	977,160	976,845
仕掛品	35,110	39,670
原材料及び貯蔵品	383,610	379,509
繰延税金資産	201,965	110,253
その他	532,840	554,639
貸倒引当金	△5,740	△4,169
流動資産合計	14,647,259	12,817,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,936,322	2,156,946
機械装置及び運搬具（純額）	513,994	479,822
土地	1,713,470	1,713,470
その他（純額）	1,459,052	1,481,699
有形固定資産合計	5,622,839	5,831,939
無形固定資産	202,881	216,559
投資その他の資産		
投資有価証券	350,068	372,760
繰延税金資産	10,770	7,527
その他	98,221	101,683
貸倒引当金	△4,839	△4,839
投資その他の資産合計	454,220	477,131
固定資産合計	6,279,941	6,525,630
資産合計	20,927,201	19,342,766
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,078,948	2,600,489
未払法人税等	931,724	16,616
賞与引当金	265,160	100,461
役員賞与引当金	41,300	8,850
その他	790,617	738,323
流動負債合計	5,107,750	3,464,741
固定負債		
繰延税金負債	70,262	78,198
退職給付引当金	83,960	84,961
役員退職慰労引当金	252,397	248,981
その他	162,137	163,131
固定負債合計	568,756	575,273
負債合計	5,676,507	4,040,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	3,316,538
利益剰余金	9,776,314	9,729,231
自己株式	△2,618	△2,618
株主資本合計	13,688,796	14,669,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,834	124,409
為替換算調整勘定	411,301	508,850
その他の包括利益累計額合計	521,136	633,260
少数株主持分	1,040,761	—
純資産合計	15,250,693	15,302,752
負債純資産合計	20,927,201	19,342,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年11月1日 至 平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年1月31日)
売上高	3,229,353	3,271,277
売上原価	2,420,761	2,521,929
売上総利益	808,592	749,347
販売費及び一般管理費	619,553	589,483
営業利益	189,039	159,864
営業外収益		
受取利息	1,783	1,993
受取配当金	1,889	2,115
貸倒引当金戻入額	367	1,571
為替差益	44,740	52,776
その他	6,867	5,636
営業外収益合計	55,648	64,093
営業外費用		
支払利息	8	9
売上割引	2,233	2,494
その他	1,611	0
営業外費用合計	3,852	2,503
経常利益	240,835	221,454
特別利益		
固定資産売却益	8	—
負ののれん発生益	—	12,982
特別利益合計	8	12,982
特別損失		
固定資産処分損	286	97
特別損失合計	286	97
税金等調整前四半期純利益	240,557	234,340
法人税、住民税及び事業税	51,786	9,792
法人税等調整額	56,383	95,257
法人税等合計	108,170	105,049
少数株主損益調整前四半期純利益	132,386	129,291
少数株主利益	38,726	—
四半期純利益	93,660	129,291



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132,386	129,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,701	14,575
為替換算調整勘定	232,366	97,548
その他の包括利益合計	281,067	112,124
四半期包括利益	413,454	241,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	374,464	241,415
少数株主に係る四半期包括利益	38,990	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年11月1日を効力発生日とする株式交換を当社の連結子会社である巴興業株式会社と行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金は1,027,778千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本剰余金が3,316,538千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	産業廃棄物 収集運搬・ 処分事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,824,609	350,423	54,320	3,229,353	—	3,229,353
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	2,824,609	350,423	54,320	3,229,353	(—)	3,229,353
セグメント利益	250,076	65,003	9,872	324,952	(135,912)	189,039

(注) 1. セグメント利益の調整額135,912千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	産業廃棄物 収集運搬・ 処分事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,930,731	292,242	48,303	3,271,277	—	3,271,277
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	2,930,731	292,242	48,303	3,271,277	(—)	3,271,277
セグメント利益	248,403	32,486	8,324	289,215	(129,350)	159,864

(注) 1. セグメント利益の調整額129,350千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成25年11月1日を効力発生日とする株式交換を当社の連結子会社である巴興業株式会社と行ったことに伴い、負ののれん発生益12,982千円を特別利益に計上しております。当該負ののれん発生益は報告セグメントに配分しておりません。